

Memory Media Utility Software Ver. 5.0.0 の Mac 版をリリースします。

本ドキュメントでは Memory Media Utility のインストール方法と使用上の注意事項について説明します。SBAC-T40 などの SxS Reader/Writer および PSZ-SG48/96 などの Portable Storage 本体同梱の取扱説明書と合わせてご覧ください。

【V5.0.0 で対応した内容】

- ・ DriverKit Extension 版 SxS Device Driver V5.0.0 との連携
上記バージョンの SxS Device Driver と組み合わせて使用する際は、必ず、本バージョンの Memory Media Utility をお使いください。旧バージョンと組み合わせてのご使用はできません。
- ・ macOS 13.2 Ventura 対応
新 OS Ventura をサポートしました。

【動作環境】

この Memory Media Utility Ver. 5.0.0 は下記の環境で動作確認済です。

対応 OS

macOS Monterey 12.4 以降 ※1 ※2

macOS Ventura 13.2 ※2

※1 DriverKit Extension 版 SxS Device Driver V5.0.0 と連携させるため、macOS は 12.4 以降でお使い下さい。それ以前の macOS 12 Monterey 環境や macOS 11 BigSur 環境でお使いの場合は旧バージョン 4.7.0 をお使いください。

※2 Intel Mac 製品に加え、Apple シリコン搭載 Mac 製品に対応しています。

Memory

4 GB 以上

HDD の空き容量

500 MB 以上

ご注意： 上記の動作実績は、すべてのコンピューターに適用されるものではありません。

【Memory Media Utility のインストール方法】

Mac の場合

MemoryMediaUtility_5_0_0_mac.zip を解凍します。

MemoryMediaUtility_5_0_0_mac.dmg をダブルクリックして、インストーラーの指示に従ってください。

Mac 版は、これまでに登録したメディア管理情報（データベース）を引き継ぐため、バージョン 5.0.0 のインストーラーで、上書きインストールしてください。

ご注意：バージョン 4.6.0 以前のアンインストーラーで削除すると、メディア管理情報は削除されますので、ご注意ください。なお、バージョン 4.7.0 以降のアンインストーラーは、引き継げるように登録情報を残すようにしています。

また、インストールする際は、後述する、システムソフトウェアの許可を行なって下さい。
設定情報を確実に反映するため、インストール後、OSの再起動をお願いします。

・ Apple Silicon 搭載 Mac にインストールする際は、セキュリティポリシーの設定変更が必要です。

Apple シリコンを搭載した Mac に「Memory Media Utility」をインストールするときは、あらかじめ下記の手順でセキュリティポリシーの設定を「低セキュリティ」に変更する必要があります。

1. Apple シリコンを搭載した Mac で、アップルメニュー > [システム終了]と選択してコンピューターの電源を切ります。
2. [起動オプションを読み込み中]と表示されるまで電源ボタンを押したままにします。
3. [オプション]をクリックしてから、[続ける]をクリックします。



4. macOS 復旧でユーザ選択が求められる場合は、[次へ]をクリックし、必要に応じて、管理者アカウントのパスワードを入力します。
5. [復旧]アプリケーションで、[ユーティリティ] > [起動セキュリティユーティリティ]と選択します。
6. 使用する起動ディスクを選択します。ディスクがFileVaultで暗号化されている場合は[ロックを解除]をクリックし、パスワードを入力してから[ロックを解除]をクリックします。
7. [セキュリティポリシー]をクリックします。
8. [低セキュリティ]を選択し、[確認済みの開発元から提供されたカーネル機能拡張のユーザ管理を許可]チェックボックスを選択して、レガシーのカーネル機能拡張を使用するソフトウェアのインストールを許可します。その際、必要に応じて管理者アカウントとパスワードを入力します。
9. Mac を再起動して変更内容を適用します。

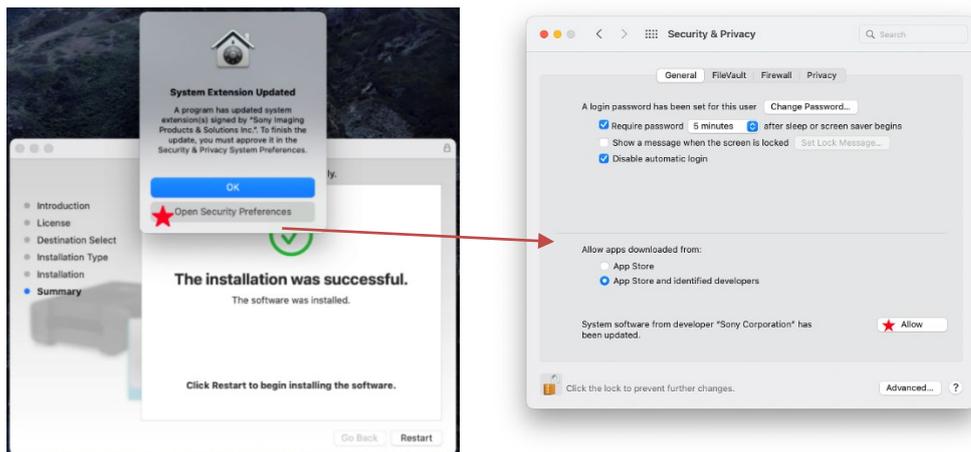
・ macOS 12.4 もしくは 13.2 にインストールする際は、システムソフトウェアの許可が必要です。

下記のように「システム環境設定」の「セキュリティとプライバシー」画面を開き、読み込み許可が要求されている場合、必ず「システムソフトウェアの読み込み」を”許可”してください。

上書きインストールの場合など、前回のインストール時にすでに許可されている場合は不要です。但し、新しく追加された物がある場合は、それらもチェックするようにしてください。

1. Open “Security & Privacy” from “System Preference”
2. Press the “Allow” button on right side of “System Software was blocked from loading...”
3. Check out the System software of “Sony *****” and press “OK” .

インストール中に以下のようなダイアログが表示された場合は“Open Security Preferences”を選択すれば、「セキュリティとプライバシー」画面が開きます。以下は macOS Monterey の場合の例です。



ご注意：

インストール時に許可しなかった場合、OS 再起動後には元に戻ってしまいます。

その場合は、再度、インストーラーを実行して、システムソフトウェアの許可を設定してください。

【言語対応について】

本ユーティリティは、システムの言語環境にあわせて、言語 (EN/JP) の切り替えを自動的に行いません。

【制限事項】

メディアの取り出し操作について

「SxS リーダーライター表示」画面に表示される各ドライブの Eject ボタンで Eject できます。

但し、SBAC-T40 は、Windows の「ハードウェアの安全な取り外し」から、取り出しを行なう必要があります。

Mac との USB3.0 接続について

- ・ Mac 標準搭載の USB3.0 ポートに SxS リーダーライターを接続してご使用ください。
- ・ 他社製の USB3.0 カードは SxS リーダーライターを正しく認識しなかったり、データ転送が正しく行われなかったりする場合があります。特に、クリップファイルの転送を行なった際は、必ず、Catalyst Browse などのアプリケーションで、ファイル転送が確実に行われているか、確認するようにしてください。

【注意事項】

1. 操作上の注意

OS がメディアをマウントする前に本ソフトウェアで操作を行なうと、コンピューターが不安定になる場合があります。

- ・ 必ずメディアアイコンがデスクトップに表示されてから、本ソフトウェアでの操作を行なってください。
- ・ OS 起動前にメディアを接続してしまうと、OS 標準のファイルシステムドライブでマウントしてしまうため、アクセスが遅くなります。このため、OS が起動してから、メディアをマウントするようにしてください。

SxS メモリーカードのフォーマットについて

- ・ Finder や Explorer などメディアを開いたり、アクセスしている場合は実行できません。
- ・ 操作中に、万が一ケーブルを抜いてしまった場合、メディアが壊れるか、コンピューターが不安定になる可能性があります。もしそうなった場合は、少し待ってから SxS メモリーを再挿入するか、コンピューターを再起動して下さい。メディアやリーダーライターが壊れていなければ、正常状態に復帰します。

SxS リーダーライターのファームウェアアップデートについて

- ・ ファームウェアのアップデートをする前に後述する、「マシン環境の設定」を確認してください。
- ・ PC と SxS リーダーライターの接続が不安定（認識されたりされなかったり、認識が勝手に解除されたり等）の場合は、ファームウェアアップデートに失敗する危険性がありますので、実施せずにサービス窓口へご連絡ください。
- ・ ファームウェアアップデート中にケーブルを抜いたり、PC の電源を切ったりすることは、絶対にしないでください。
- ・ もし「アップデートに失敗しました」のメッセージが表示された場合は、そのまま USB ケーブルを抜かずに、再度ファームウェアアップデートを実行してください。
- ・ SxS リーダーライターに記録メディアが挿入されているとファームウェアアップデートが実行できませんので、記録メディアは取り外した状態で行って下さい。
- ・ ファームウェアアップデート後は、PC から SxS リーダーライターを取り外した後、5 秒以上間隔を空けてから再接続して下さい。

2. マシン環境の設定

ドライブの正常動作の妨げになる可能性がありますので、電力モードはハイパフォーマンスをお勧めします。もしくは、一時的に自動スリープを解除した状態でご使用ください。

Mac Laptop 製品の場合、Apple メニューの システム環境設定 > バッテリーを選択し、下記項目で変更します。

- ・ バッテリーの 低電力モード・・・ Never（なし）に設定する、もしくは、チェックを外す
- ・ Option 内の可能な場合はハードディスクをスリープさせる・・・ Never（なし）に設定（ディスプレイオフ時間のスライド設定がある場合、可能であれば Never（なし）に設定してください）

Mac Laptop もしくは Mac Desktop (Intel Mac) 製品の場合、Apple メニューの システム環境設定 > 省電力もしくはバッテリーを選択し、下記項目で変更します。

- ・ Power Nap を有効にする・・・無効にする

Windows の場合、コントロールパネルで電源オプション > プラン設定の変更 > 詳細な電源設定の変更を開き、下記項目で変更します（なお、コントロールパネルの表示方法をアイコンにした場合です。表示方法をカテゴリにすると階層が深くなります）。

- ・ [スリープ]-[次の時間経過後スリープする]・・・「なし」
- ・ [USB]-[USB 設定]-[USB のセレクトティブサスペンドの設定]・・・「無効」

なお、Thunderbolt の省電力モードについては、OS 起動前の UEFI BIOS 内で変更可能です。なお、PC の適切な BIOS 設定については、各 PC メーカーにお問い合わせください。HP 社製 Elitebook の場合、UEFI BIOS 内 Advanced > Port Options > Thunderbolt PCIe Hot plug Mode を “Native + Lower Power mode” に設定し、Main 内の Save and Exit で確定させることで変更できます。

以下のようなストレージ管理ソフトについても、一時的に無効にするか、その管理対象から除外することを推奨します。

例) 常駐型のアンチウイルスソフト、バックアップツール、自己暗号化ドライブ管理サービス、RAID 管理ソフト

トウェアなど

3. SxS メモリーカード、SONY Portable Storage/Professional RAID の初期化について
OS 標準のフォーマット機能で初期化しないで下さい。ソニー製カムコーダやプレーヤー・レコーダでマウントできない可能性がありますので、必ず、本ソフトウェア でフォーマットして下さい。
 4. Memory Media Utility をご使用になる場合、もしくは、UDF フォーマットされたメモリーカードを使う場合
Memory Media Utility を使う場合や UDF フォーマットされた SxS メモリーカードに関する機能を使用する場合には、SxS UDF Driver V5.0.0 をインストールする必要があります。弊社のサイトよりダウンロードし、インストールしてください。
<https://www.sonycreativesoftware.com/sxsudfdriver>
 5. SxS リーダーライター” SBAC-T40”、もしくは、ExpressCard スロット で SxS Memory Card を使うには
SBAC-T40 や PC の ExpressCard スロットに接続して SxS Memory Card を使用する場合は、SxS Device Driver V5.0.0 をインストールする必要があります。弊社のサイトよりダウンロードし、インストールしてください。
<https://www.sonycreativesoftware.com/sxsdriver>
 6. SxS PROX メモリーカードを使うには
古い SxS リーダーライター用ファームウェアの場合、接続が安定しない場合があります。
その際は、本ソフトウェアに同梱されている、最新のファームウェアに更新することで改善できます。
-